

平成30年9月3日

区長記者懇談会



運動会でボール運びリレーをしました。競走なのに、なんだか嬉しそうです。(高根小学校)

★どこかにおみずけが強れているよ、探してみてね。★

平成30年 第3回 杉並区議会定例会

9/10日
~10/16日^{予定}

議会予定

9/10日	会期の決定、特別委員会活動経過報告、区長所信表明、代表質問
9/11日	代表質問
9/12日	一般質問
9/13日	一般質問
9/14日	一般質問、議案の説明、決算特別委員会(正副委員長互選)
9/18日 ~ 9/25日	常任委員会
9/26日 ~ 10/1日	特別委員会
10/2日 ~ 10/15日	決算特別委員会
10/16日	議案の議決等

区議会はどなたでも傍聴できます。
インターネット配信も行っています。スマートフォンでもご覧いただけますので是非ご利用ください。



杉並区議会 検索



杉並区議会

日程や傍聴のお問い合わせは区議会事務局へ

杉並区阿佐谷南1-15-1 中棟3階 ☎3312-2111 内線2302

杉並区議会では、みなさまからお願いいただいた写真でポスターを作成しています。写真応募は随時受け付けています。



三期目にあたっての基本的な考え方

1 区政運営の基本姿勢

(1) 区民の暮らしの安全と安心を確保する取組の推進

今般、子どもへの虐待、壁の倒壊による女児の死亡、振り込め詐欺、豪雨災害など、全国的に住民の生命・財産を脅かす災害や痛ましい事件・事故が相次いで発生しています。本区においても、区肺がん検診における区内医療機関による肺がんの見落としがあり、受診者が亡くなる事故がありました。減災・防災対策はもとより、児童虐待対策、健康づくり、防犯対策などの取り組みを強化していきます。

(2) 少子高齢化社会の進展を見据えた取組の推進

区の出生率は、平成 17 年度を底に上昇傾向にありましたが、平成 28 年度以降減少傾向に転じています。一方、高齢化率は一貫して上昇傾向にあり、平成 27 年には超高齢社会の目安となる 21%となりました。また、40 年後には高齢化率は 30%を超えると予測しています。

少子化に歯止めをかけるため、認可保育所や学童クラブ・子どもプラザなどを整備し、子どもを安心して生み育てやすい環境の整備に努めるとともに、高齢者施策として健康寿命の延伸、在宅医療・在宅介護の体制の充実、介護施設の着実な整備に取り組んでいきます。

(3) 財政の健全性の確保と持続可能な財政運営

区の財政は、少子高齢化対策をはじめとした社会保障関連経費が 15 年間で 2.3 倍となり、今後も増大していくことが確実です。また、区立施設の 3 分の 1 が築 40 年を超えている状況で、今後の改築・改修経費の増大は避けられません。さらに、時代のニーズに対応したサービスや首都直下地震への備えなど、財政の健全性の確保と持続可能な財政運営が必要不可欠です。

そこで、総合計画の改定では基金積立のルールや区債発行の考え方を定め、単年度の収支均衡と中長期の財政の健全化に努めていきます。

5 つのルール

- 1 大規模災害や経済事情の著しい変動等による減収に備え、財政調整基金の年度末残高 350 億円の維持に努めます。
- 2 将来の区立施設の改築・改修需要に備え、毎年度、施設整備基金に 40 億円を目途に積み立てます。
- 3 区債は、原則として赤字区債を発行せず、建設費についても、財政状況を踏まえつつ、必要性を十分検討して発行します。また、金利動向等を見据え繰上償還を行い、公債費の軽減に努めます。
- 4 財政運営の弾力性を保持するために、行政コスト対税収等比率が 100%を超えないように努めます。
- 5 将来にわたって健全な財政運営を持続していくために、債務償還可能年数が 3 年を超えないように努めます。

2 区政運営の主要課題

(1)安全・安心のまちづくり

- ①危険ブロック塀等の安全対策：除却や設置、擁壁改修に対する助成 →P 7
- ②狭あい道路の拡幅整備：年間の拡幅整備を 10 k mに拡充
- ③新耐震基準木造住宅への助成拡大
- ④防災アプリの開発
- ⑤地域区民センターの防災機能の強化

(2)みどりとの保全とにぎわいの創出

- ①（仮称）荻窪駅周辺都市総合交通戦略の策定
- ②ホームステイ・ホームビジット支援事業 →P 6
- ③柏の宮公園・馬橋公園の拡張、（仮称）荻外荘公園の整備等 →P 3

(3)健康長寿と支えあい

- ①地域包括ケアの推進：在宅医療・生活支援センターを核とした取組 →P 4
- ②特別養護老人ホームの整備：緊急度の高い入所待機者ゼロ →P 6
- ③肺がん検診外部検証等委員会の設置 →P 8

(4)切れ目ない子育て支援

- ①認可保育所整備の推進と待機児童ゼロの継続 →P 4
- ②保育の質の確保：区内保育施設への巡回・相談支援の充実等 →P 5
- ③子ども・子育てプラザの整備
- ④学童クラブの受け入れ枠の拡大と育成時間の延長
- ⑤全小・中学校の特別教室へのエアコン設置と体育館への順次設置 →P 8
- ⑥児童虐待対策の推進 →P 5

(5)行財政改革と協働

- ①区立施設再編整備計画（第1期）第2次プランの策定
- ②ネーミングライツ事業の拡大検討
- ③公契約条例の制定検討
- ④すぎなみ地域大学の運営等を通じた人材育成
- ⑤協働提案制度の実施方法の見直し

総合計画・実行計画の改定

平成24年3月に策定した「杉並区基本構想（10年ビジョン）」を実現するための具体的な道筋である「杉並区総合計画・実行計画」の改定作業を行っています。現在は、9月1日から改定案を示し、区民意見聴取を募っているところです。

改定後の実行計画では、平成31年度から33年度までの3カ年に実施する133事業を盛り込んでいます。この度の改定によって、新規3事業を加え取組終了2事業を削除しました。また、必要に応じて事業量の拡充を行いました。

■計画事業数の新旧対照表

総合計画目標		新実行計画の計画数	旧実行計画の計画数
目標1	災害に強く安全・安心に暮らせるまち	19	19
目標2	暮らしやすく快適で魅力あるまち	22	22
目標3	みどり豊かな環境にやさしいまち	17	16
目標4	健康長寿と支えあいのまち	28	28
目標5	人を育み共につながる心豊かなまち	47	47
計		133	132

改定後の実行計画の新規事業ならびに、主な重点事業は次のとおりです。

1 柏の宮公園・馬橋公園の拡張、(仮称)荻外荘公園の整備等

区立柏の宮公園に隣接する民有地を公園拡張用地（5873.29㎡）として活用し、避難場所の拡充を含めた公園機能の向上を図ります。今年度中に実施設計を策定し、平成31年度に拡張整備工事、平成32年度に供用開始を予定しています。また、区立馬橋公園隣地の国有地（約6,400㎡）を取得し、防災機能の強化を図るため公園の拡張整備に着手します。

さらに、国の史跡指定を受けた荻外荘の歴史的・文化的価値を最大限に活用し後世に引き継いでいくため、豊島区内にある移築建物の復原・整備に向け、移築建物の解体や整備設計に取り組めます。また、荻外荘の魅力を発信するため関連イベントの開催や寄附金の募集などを行います。

【問い合わせ先】みどり公園課 内線3571

2 在宅医療・生活支援の推進

平成30年4月に、「在宅医療・生活支援センター」を設置し、ひとつの相談窓口だけでは対応が難しい複合的な生活課題を抱えた世帯を、高齢や障害、子ども家庭等の分野を超えて、各関係機関が一体となって支援する取り組みを始めました。今後はさらに、社会福祉協議会やボランティアセンターなどとの連携を強化し、地域での支えあいの活動を広げていきます。

また、平成33年度に開設する「ウェルファーム杉並」特別養護老人ホーム棟に併設する診療所や訪問看護ステーション、医療機関との連携を深め、在宅医療の担い手の育成や24時間往診・連絡体制づくりを推進します。

【問い合わせ先】在宅医療・生活支援センター 5355-7316

3 待機児童ゼロの継続

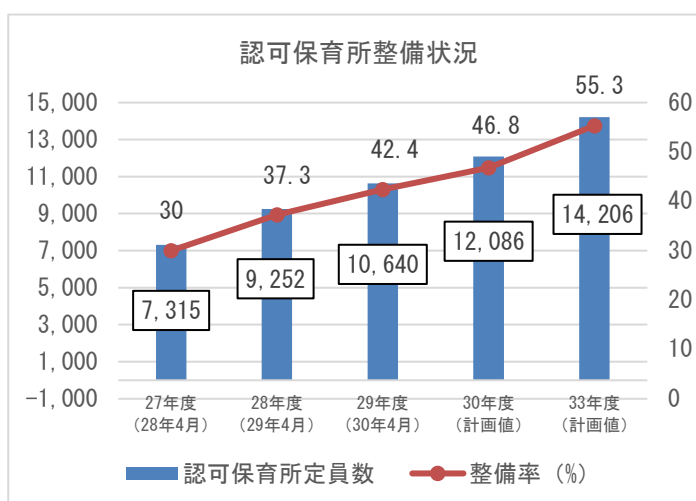
区では、平成30年4月に待機児童ゼロを実現しました。一方で、認可保育所へ入所を希望した子どものうち、約1/4の方が認可保育所等に入所内定できていない状況です。加えて、今



後も当分の間、保育需要の増加が見込まれることを踏まえ、「待機児童ゼロ」の継続はもちろんのこと、希望する全ての子どもが認可保育所に入所できる環境を整えるため、引き続き、認可保育所を核とした施設整備に取り組めます。

■認可保育所のさらなる整備

平成31年度からの3か年で2,120名の認可定員を確保し、平成30年4月時点で42.4%であった認可保育所整備率を、平成33年度末には、希望する全ての子どもが認可保育所に入所できるよう、区全体の整備率を55.3%まで引き上げていきます。



【問い合わせ先】保育課 内線1371

保育施設担当 内線1381

4 保育の質の確保

区は、認可保育所を核とした施設整備とともに、保育の質を確保するための取り組みを車の両輪として進めていく必要があると考え、今回の計画改定で本取組を新たに掲げました。

具体的には、区立保育園の一部を「中核園」として位置づけ、まずは平成32年度に7園を指定し、地域における保育施設間の連携・情報共有の促進など、保育の質の維持・向上等に積極的な役割を果たしていきます。

また、急増した保育施設に対して心理専門職や区立保育園の園長経験者が各保育施設を定期的に訪問し、保育内容や保育環境に関する相談・助言を充実します。

さらに、保育士等の処遇改善に要する経費の一部助成や、就職セミナー・面接会の実施等により、私立保育施設等に勤務する保育士等の人材確保と定着化を引き続き支援していきます。

【問い合わせ先】 保育課 内線1371

保育施設支援担当 内線1341

5 児童虐待対策の推進

近年、児童虐待通告・相談件数が増加するとともに、個々の支援ケースが複雑・多様化しています。こうした中、要支援及び要保護児童数は5年前に比べ、29年度は約57%増となる1,849人となりました。

これらの状況を踏まえ、より迅速・的確に子どもの生命を守る取組を進めるため、現在の子ども家庭支援センターのほか、3か所の地域型子ども家庭支援センターを段階的に整備することとし、その1か所目を来年4月、高円寺に開設します。

加えて、常勤の児童虐待対応ワーカーを本年秋から平成33年度までに現在の3倍以上に増員するなど、人員体制を強化して、児童虐待対策を一層推進していきます。

【問い合わせ先】 子ども家庭支援担当 内線1351

6 特別養護老人ホーム入所待機者ゼロを目指して

区は介護や支援が必要となり、自宅での生活が困難となった高齢者の状態にあった多様な住まいや施設の整備を進めています。その中で、特別養護老人ホームについては、現行の総合計画・実行計画に基づき、平成24年～33年度末までの10年間で、1,000床増やし2,307名の定員確保を目標に整備を進めてきました。国・公有地等の活用を図るとともに、平成30年3月の全国初の自治体間連携による「エクレシア南伊豆」の開設などにより、着実に定員を確保し、今回の総合計画・実行計画の改定では、平成33年度の整備目標数を、81名上乘せした2,388名としているところです。これにより、平成33年度までに、緊急性の高い入所希望者が全て入所できる見込みとなりました。

■特別養護老人ホームの整備状況(各年度末)

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
定員数	1,307名	1,377名	1,538名	1,538名	1,633名	1,753名	1,963名

■今後の特別養護老人ホームの整備計画(各年度末)

項目	30年度	31年度	32年度	33年度
新規整備施設数	3施設	2施設	1施設	1施設
新規整備定員数	210名	173名	84名	168名
累計定員数	1,963名	2,136名	2,220名	2,388名

【問い合わせ先】 高齢者施設整備担当 内線 1181

7 台湾の中学生が区内の家庭にホームビジット！

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、国内外の交流自治体等の住民と区民との交流を促進する「ホームステイ・ホームビジット支援事業」に取り組んでいます。

こうした取り組みの一環として、今年10月、台湾の中学生を受入れるホームビジットを開催します。訪問する中学生は、交流自治体中学生親善野球大会参加のために来日している生徒たちで、最終日の試合終了後の10月8日(月)夕方から、日本選手の家を訪問し、3時間程度、夕食を共にする交流を行います。

ホストファミリーの募集は今年7月に行われ、募集予定数を超える15世帯から応募がありました。受け入れが決定したホストファミリーは、今月22日(土)に行われる説明会に参加し、台湾文化の事前学習を行うなど、生徒の受け入れに備えます。

今後もさらに、ホームステイ・ホームビジットに関するセミナーを開催するなど、多くのホストファミリーの登録を目指しながら、杉並区交流協会や交流自治体と連携し、事業の拡大を図っ

ていきます。

■事業の役割分担

杉並区	杉並区交流協会	交流自治体
<ul style="list-style-type: none">・セミナーの開催・制度の枠組みづくり・運用の支援	<ul style="list-style-type: none">・ホストファミリーの募集・登録・希望者とのマッチング・語学講座の開催・語学ボランティアの派遣	<ul style="list-style-type: none">・希望者の募集、周知

※交流自治体：国外3カ所、国内9カ所

(国外) オーストラリア・ウィロビー市、大韓民国ソウル特別市・瑞草区、台湾・台北市

(国内) 北海道名寄市、群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市、福島県北塩原村、福島県南相馬市、東京都青梅市、山梨県忍野村、静岡県南伊豆町、東京都小笠原村

【問い合わせ先】文化・交流課 内線3781

杉並区交流協会 5378-8833

計画外緊急対策事業等

1 民有地のブロック塀に対する緊急安全対策

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震で、高槻市の小学校のブロック塀が倒壊し、登校中の女子児童が亡くなりました。そこで区では、緊急安全対策として、首都直下地震など大きな揺れが起きた場合に倒壊の恐れがある危険なブロック塀等について、改修助成制度を設けます。

区内の通学路や避難路に面する民有地のブロック塀等については、昭和53年に発生した宮城県沖地震によって、ブロック塀等が倒壊し多数の死傷者が発生したことを受け、定期的な実態調査および安全指導の取組を行ってきました。その中で、安全性の疑わしいブロック塀等については、詳細調査や改善指導に努めてきました。また、大阪府北部地震が発生した翌19日には、区が把握している通学路等に面した民有地の危険ブロック塀等の緊急点検を行いました。

今回の大阪府北部地震を受け、緊急安全対策として、幅員4m以上の通学路や避難路に面する、民有地の危険ブロック塀や万年塀などを対象とした改修助成制度を設けます。

期間は平成30年度から31年度までの約1年半で、区が危険と判断したブロック塀等を対象とし、除却および軽量フェンスなどへの改修を促進します。

■事業規模・・・19,500 千円

平成 30 年度 ブロック塀等改修助成・・・650 千円×30 件 ※平成 31 年度は 50 件を予定

【問い合わせ先】耐震・不燃化担当 内線 3 3 3 1

2 杉並和泉学園の体育館にエアコン設置

区では、教育環境の向上を図るため、従来から小・中学校の音楽室、図書室及びパソコン室にエアコンを設置していました。更に、平成 22 年度と平成 23 年度で、子どもの健康を守るため、夏季の暑さ対策として全ての区立小・中学校の普通教室へエアコンを設置しました。

続いて、平成 26 年度から平成 30 年度にかけて、小・中学校の理科室、家庭科室、小学校の図工室への設置を行っています。

今後も順次、小・中学校のその他の特別教室及び体育館への設置を進めていくこととし、補正予算に杉並和泉学園（和泉 2-17-14）体育館のエアコン設置経費を計上しました。

【問い合わせ先】学校整備課 内線 1 6 1 1

3 肺がん検診外部検証委員会の運営

区内医療機関において実施した区肺がん検診における胸部エックス線検査において、肺がんの見落としがあり、当該受診者が亡くなったことを踏まえ、公正かつ中立の立場から専門的な知見に基づき検証し、原因究明と再発防止に向けた措置に調査審議するため、区長の附属機関として外部委員による検証委員会を設置いたしました。

委員会はこれまでに 2 度開催され、並行して杉並保健所による当該医療機関への立ち入り調査を実施しながら、検証を進めています。

今後、可能な限り速やかに委員会からの答申を受け、区としての今後の肺がん検診のあり方について方針をまとめる予定です。

【問い合わせ先】健康推進課 内線 4 5 2 8

地域保健・医療連携担当 内線 4 5 2 4

平成 30 年度杉並区一般会計補正予算(第 2 号)

今回の補正予算では、行財政改革基本方針に基づく「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」に従い、今後の行政需要や災害対策に活用するため、決算剰余金の 2 分の 1 以上を財政調整基金に積み立てることや、新たな事情や緊急性等の観点から必要な経費を計上しました。

主なものとしては、ブロック塀等緊急安全対策に要する経費のほか、小・中学校体育館への空調設備整備に要する経費、杉並第一小学校等施設整備等方針に基づく、阿佐谷地域区民センター及び阿佐谷児童館の移転整備などに要する経費や児童の受入枠拡大のための学童クラブの整備に要する経費などです。

1. 総括

(単位:千円)

会 計	補正前	今回補正額	補正後
一 般 会 計	179,928,291	6,311,904	186,240,195

2. 概要

補正事業	30事業
補正予算額	63億1,190万4千円

3. 主な事業の概要

ブロック塀等緊急安全対策	19,864千円
(特財：国庫支出金 4,875 千円)	
大阪府北部地震を受け、危険ブロック塀等の改善を促進するため、通学路や避難路に隣接するブロック塀等の除却及び整備の助成等に要する経費を計上	

小学校空調設備整備	1, 527千円
中学校空調設備整備	1, 527千円
杉並和泉学園の体育館（小・中）に空調設備を設置するための設計委託に要する経費を計上	

阿佐谷地域区民センターの移転整備	19, 841千円
阿佐谷児童館の移転整備	4, 524千円
公園等の整備	3, 518千円
防災施設整備	720千円
杉並第一小学校等施設整備等方針に基づき、旧阿佐谷けやき公園プールの跡地に阿佐谷地域区民センター等の複合施設を整備するための実施設計に要する経費を計上	

学童クラブの整備	88, 189千円
学童クラブの受入枠拡大のため、高井戸児童館及び高井戸西児童館の改修工事等に要する経費を計上	

財政調整基金積立金	4, 527, 587千円
	(特財：財産収入1,132千円)
「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」に基づき、決算剰余金の1/2以上の新規積立金及びその利子分を積み立てる	

認知症高齢者グループホームの建設助成	17, 267千円
	(特財：都支出金16,767千円)
30年7月から事業を開始した、今川3丁目の「グループホームきらら西荻窪」に対する開設準備経費の助成に要する経費を計上	

民営保育園に対する運営費加算	12,500千円
昨年度に引き続き、私立保育園の保育士確保のため、新規採用者等へ区内共通商品券を配布するために要する経費を計上	
保育施設の整備	766,858千円
区立施設再編整備計画に基づき認可保育所を整備するため、旧若杉小学校北校舎の改修工事及び旧杉並保育園の園舎の改修工事のほか、方南会館で事業実施している家庭福祉員グループの小規模保育事業への移行に伴う改修工事、浜田山一丁目の用地取得等に要する経費を計上	
自転車駐車場等整備	376,580千円
西永福駅の登録制自転車置場の有料制自転車駐車場への移行を図るため、浜田山一丁目の用地取得等に要する経費を計上	
狭あい道路拡幅整備	139,000千円
単価改定などによる経費の不足が見込まれる狭あい道路の拡幅整備に係る工事等に要する経費を計上	
学校における働き方改革の推進	8,663千円
(特財：都支出金7,431千円)	
教員の働き方改革を総合的・効果的に推進するため、働き方改革プランの策定やタイムマネジメント向上研修、出退勤管理システムの導入に要する経費を計上	
小学校の運営管理	13,230千円
放課後等居場所事業への活用を視野に、桃井第五小学校の芝生養生期間中の運動スペースを確保し、小校庭を整備するための経費等を計上	

<連絡先>

杉並区役所 03-3312-2111 (代表)

広報課直通 03-3312-6855